

令和3年1月18日

延岡中学校保健室

宮崎県 1月22日まで県独自の非常事態宣言発令中！

最後に県民の皆さまへお願い
—あらゆる場面で、感染防止対策を！！—

- 常にマスクを。
- 手指消毒や手洗い等を徹底する。
- 3つの密を避ける。



ニュース等でも報道されている様に、宮崎県では、人口10万人あたりの新規の感染者数が全国でも上位になるなど、爆発的な感染拡大がおきています。

延岡中学校では、マスクの着用や手指消毒、換気を徹底しながら、対策を行っています。

下記にありますように、マスク等も素材によって、飛沫量が違うようです。**感染が収まるまでは、「不織布のマスク」を使用するなど、各家庭で対応していただくと助かります。**

マスクの素材による飛沫量の違い

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド	
		 不織布 布マスク ウレタン					
	吐き出し飛沫量	100%	20%	18-34%	50% ^{※2}	80%	90% ^{※2}
	吸い込み飛沫量	100%	30%	55-65% ^{※2}	60-70% ^{※2}	小さな飛沫に対しては効果なし (エアロゾルは防げない)	

※2 豊橋技術科学大学による実験値

●実験 (マスクは厚生労働省が示す正しい着用方法にもとづいています。)

さまざまな素材のマスクを着用した人頭モデルにミスト生成装置を接続し、飛沫の飛散状況をレーザー光を用いて可視化、カウントしました。吸い込み時の計測は実際に人がマスクを着用。飛沫の直径は、0.3 μ m(小さな飛沫)から200 μ m(大きな飛沫)まで計算しています。

●結果

吐き出し:飛沫量は不織布、布ともに8割が捕集されます。

吸い込み:不織布マスク着用時、マスクと顔に隙間がある場合でも上気道(鼻から鼻腔、鼻咽腔、咽頭、喉頭)への吸引飛沫量を1/3にすることができます。フェイスシールドにおいては、大きな飛沫(50 μ m以上の水滴)については捕集効果が見込めるが、エアロゾルはほぼ漏れてしまう。

それ、濃厚接触です



発症した日の2日前から確認します

集団生活の中でも
マスクと距離に注意すれば防ぐことができます

登下校中や昼休み、うっかりマスクなしで友達と話している人はいませんか？

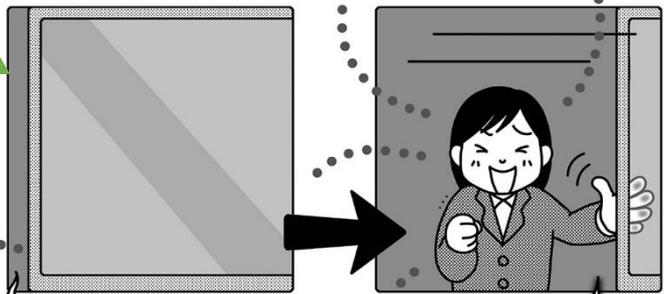
1人1人がしっかりと今、非常事態宣言下ということをしっかり考えて行動しましょう。

換気をしてくれるのは、主に保健委員会の仕事ですが、みんなで気づいて、積極的に換気しましょう。

(換気をしている人に寒いと文句を言っている人はいませんかよ…？(ω-ω))

集団の場では…

換気の徹底!



授業中も少し開けて常時換気を!

休み時間は思いきり!

まちがいさがし7つあるよ



ことし いちねん
今年も1年
げんき
元気にすごそう

